Ⅲ　使用した調査票

【第18回 くすりと製薬産業に関する生活者意識調査　質問項目】

最初に、あなたご自身のことについてお伺いします。調査結果を分析するために使用します。

F1. あなたの性別は

（ひとつだけ）【必須】

1. 男性
2. 女性
3. 無回答

F2. あなたの年齢は

【必須】

※記入欄

F3. あなたのご職業は

（ひとつだけ）【必須】

1. 会社員／役員
2. 公務員
3. 自営業／自由業
4. 専業主婦・主夫
5. 学生
6. アルバイト／パート
7. 無職
8. その他

F4. あなたがお住まいの都道府県は

（ひとつだけ）【必須】

回答を選択してください　※各都道府県名を選択するプルダウンとなっています。

F5. ご自分の健康状態は

（ひとつだけ）【必須】

1. 非常に健康
2. まあ健康(普通)
3. 健康に不安がある
4. 健康ではない（持病等がある）

F6. あなたは、この1年間に医療機関を受診したことがありますか。

（ひとつだけ）【必須】

1. ある
2. ない

F7.　あなたは、この1年間に入院したことがありますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. ある
2. ない

第１章 くすりについて（情報取得、理解、使用実態）

ここからの質問は病院や診療所（医院）で処方され調剤薬局で調剤されたくすり（処方薬）についてお伺いします。なお、ここでいうくすりには、薬局・薬店等で自由に購入できる一般用医薬品（OTC 医薬品）は含みません。

１-１ 処方薬についての情報取得と理解

問1. あなたは、処方されたくすりについてのどのような知識や情報を入手したいと思いますか。
（いくつでも）【必須】
1. くすりの成分
2. くすりの名前
3. くすりのメーカー名（製薬会社）
4. くすりの効能・効果
5. くすりの服用方法
6. くすりの副作用
7. くすりの飲み合わせの注意
8. くすりの保管方法
9. ジェネリック医薬品に関する情報
10. 特にない

問2. あなたは、処方されたくすりについての知識や情報を、どこから入手しますか。
（いくつでも）【必須】
1. 医師・薬剤師
2. ウェブサイト （問2-1. へ）
3. SNS（X（旧Twitter）、 Facebookなど）（問2-2. へ）
4. 新聞
5. 週刊誌などの雑誌
6. 健康専門誌
7. テレビ、ラジオ
8. 書籍
9. 製薬会社のパンフレットや冊子
10. 特に入手していない
11. その他

問2-1. あなたが利用したウェブサイトの情報は、どこのウェブサイトですか。
（いくつでも）【必須】
1. 製薬会社
2. 製薬産業の業界団体
3. 薬剤師会
4. 医師会、学会
5. 患者団体
6. 病院、診療所(医院)
7. 国や国の機関、自治体など公的機関
8. マスメディアが運営する医療情報サイト
9. 民間の情報サイト
10. 個人（家族、知人を含む）
11. その他

問2-2. あなたが利用したSNSの情報は、どこのSNSですか。
（いくつでも）【必須】
1. 製薬会社
2. 製薬産業の業界団体
3. 薬剤師会
4. 医師会、学会
5. 患者団体
6. 病院、診療所(医院)
7. 国や国の機関、自治体など公的機関
8. マスメディアが運営する医療情報SNS
9. 民間の情報SNS
10. 個人（家族、知人を含む）
11. その他

問3. あなたは、処方されたくすりの知識や情報をどのような形で入手したいですか。
（いくつでも）【必須】
1. 口頭による説明
2. （紙）病院や薬局で作った説明書
3. （紙）製薬会社が作ったパンフレット
4. （デジタル）ウェブサイト、QRコードやアプリ
5. （デジタル）SNSやメール
6. （デジタル）医療機関内で動画等の視聴
7. （デジタル）電子版おくすり手帳での提供
8. 特にない
9. その他

１-２　かかりつけ薬局とくすり相談窓口

問4. 処方されたくすりについて、気軽に相談できる薬局（かかりつけ薬局）がありますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. ある
2. ない
3. どちらとも言えない

問 5. 製薬会社ではくすり相談窓口を設けていますが、ご存知ですか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 知っている （問 5-1. へ）
2. 知らない

問 5-1. あなたは、どこでくすり相談窓口を知りましたか。
（いくつでも）【必須】
1. 医師・薬剤師
2. ウェブサイト
3. SNS
4. リーフレット
5. 電話番号案内
6. 公的機関
7. 書籍
8. その他

問 6. くすり相談窓口を実際に利用したことはありますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 利用したことがある（問 6-1. へ）
2. 利用したことがない （問 7. へ）

問 6-1. くすり相談窓口へはどんな問い合わせをしましたか。
（いくつでも）【必須】
1. 成分・特徴
2. 効能・効果
3. 服用方法
4. 副作用
5. 飲み合わせの注意
6. 保管方法

7. 使用期限
8. 開発中の新薬の動向や発売時期
9. その他

問 6-2. くすり相談窓口の対応に満足しましたか。
（ひとつだけ）【必須】
1. とても満足
2. まあ満足
3. やや不満
4. 不満

1-3 処方薬の使用実態

問7. あなたは、処方されたくすりを、医師や薬剤師の指示どおりに飲めていますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 指示どおり飲めている
2. まあ指示どおり飲めている
3. あまり指示どおりに飲めていない（問7-1. へ）
4. 指示どおり飲めていない（問7-1. へ）

問7-1. 指示どおりに飲めていない理由は何ですか。
（いくつでも）【必須】
1. 忙しいため
2. 服薬している薬の数が多いため
3. 途中で症状が良くなったため
4. つい、忘れてしまう
5. 指示が良く分からない
6. その他

問7-2. 服薬にあたっての不便さがありますか。
（いくつでも）【必須】
1. 1回の服用量が多い
2. くすりが大きくて飲みづらい
3. 味がまずい
4. 飲む際にむせる
5. その他

1-4 副作用の経験・認識

問8. あなたは処方されたくすりを飲んで、「副作用と思われる症状」を経験したことがありますか。
（ひとつだけ）【必須】

1. 時々ある
2. 1～2度ある
3. ない（問9. へ）

問8-1. その時、あなたは医師や薬剤師に相談しましたか。
（いくつでも）【必須】
1. 医師に相談したことがある
2. 薬剤師に相談したことがある
3. どちらにも相談しなかった（問8-2へ）

問8-2. 相談しなかった理由は何ですか。
（いくつでも）【必須】
1. 医療機関から事前に提供された情報を見直して対応できたから
2. ウェブサイトやSNSで検索して対応できたから
3. 副作用と思われる症状が起きても特に困らなかったから
4. 何を相談したら良いのかわからなかったから
5. どの程度の症状で医療機関に連絡して良いのかわからなかったから
6. 仕事などで忙しく、医療機関への連絡や受診ができなかったから
7. その他

問9. あなたは、処方されたくすりを飲むとき、「副作用」のことをどの程度気にかけていますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 非常に気にしている
2. まあ気にしている
3. あまり気にしていない
4. 全く気にしていない

第２章　製薬産業について（イメージ、活動への認知、期待）

以下の質問は、病院や診療所（医院）、調剤薬局で処方、調剤されるくすりを開発・販売している製薬産業や製薬会社についてお伺いします。（薬局・薬店で購入できる一般用医薬品の会社は含みません）

２-１　製薬産業のイメージ

問10. 製薬産業のイメージについてお聞かせください。
次の（1）～（14）についてあなたの考えをお聞かせください。
（それぞれひとつずつ）【必須】

	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
（1）社会的に必要性が高い産業である				

（2）技術力が高い産業である				
（3）高収益をあげている産業である				
（4）将来性がある産業である				
（5）国際化が進んでいる産業である				
（6）情報を積極的に提供している産業である				
（7）消費者の声を聞こうとしている産業である				
（8）社会貢献に熱心な産業である				
（9）自然環境を守ることに熱心な産業である				
（10）経営がしっかりしている産業である				
（11）就職したい（周囲に就職を勧めたい）産業である				
（12）企業の倫理性が高い産業である				
（13）研究開発に熱心な産業である				
（14）国民生活にとって欠かせない産業である				

問11. 総合的にみて、あなたは製薬産業を信頼できると思いますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 信頼できると思う
2. まあ信頼できると思う
3. あまり信頼できないと思う
4. 信頼できないと思う

問 11-1. あなたは、製薬産業に対する信頼性の判断には、どのようなことが影響していると思われますか。以下の中からあてはまるものをお知らせください。
（いくつでも）【必須】
1. 自分が服用している医師から処方されたくすりの印象
2. 普段利用している薬局・薬店で購入しているくすりの印象
3. 家族・知人が服用している医薬品の印象
4. 製薬会社が公表する情報
5. 新薬開発に関する情報
6. 家族・知人から得る情報
7. 医療機関に関するニュース
8. 製薬会社に関するニュース
9. その他製薬産業に関するニュース
10. ウェブサイト検索から得られる情報
11. ウェブサイトの掲示板、口コミサイトから得られる情報
12. X（旧 Twitter）、 Facebook などの SNS から得られる情報
13. テレビドラマや小説などのイメージ
14. 影響されるものはない
15. その他

２-２　製薬産業や製薬会社の認知意向

問12. あなたは、製薬産業や製薬会社についての情報を、どのようなところから入手していますか。
（いくつでも）【必須】

1. 新聞の記事で
2. 週刊誌など雑誌の記事で
3. テレビ、ラジオのニュースや番組で
4. 書籍で
5. ＣＭ・広告で
6. ウェブサイトで
7. SNSで
8. 製薬会社に関係のある人を通じて
9. 医療機関、薬局、薬店を通じて
10. 友人、知人、家族を通じて
11. ほとんど入手しない
12. その他

問13. あなたは、処方されたくすりのメーカー名(製薬会社)を知りたいと思いますか。
（ひとつだけ）【必須】

1. 思う （問13-1. へ）
2. 思わない

問13-1. 知りたいと思うのはなぜですか。
（いくつでも）【必須】

1. 知っていると安心だから
2. 信頼できないメーカー（製薬会社）があるから
3. 副作用が起きた時のために知っておきたいから
4. 問い合わせ先を知りたいから
5. その他

問14. あなたは、処方されたくすりのメーカー名（製薬会社）をどの程度ご存知ですか。
（ひとつだけ）【必須】

1. すべて知っている（問14-1. へ）
2. 大体知っている（問14-1. へ）
3. 多少知っている（問14-1. へ）
4. 全く知らない

問14-1. あなたは、処方されたくすりのメーカー名(製薬会社)をどのようにして知りましたか。

（いくつでも）【必須】
1. 医師に聞いて
2. 看護師に聞いて
3. 病院や診療所（医院）の薬剤師に聞いて
4. 院外にある調剤薬局の薬剤師に聞いて
5. くすりの包装にある製薬会社のマークで
6. くすりについての本で調べて
7. ウェブサイトやSNSで調べて
8. 新聞・雑誌などの報道を通じて
9. その他

問15. 今後、あなたは製薬会社からくすりや製薬産業に関する情報を入手したいと思いますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. ぜひ入手したい（問15-1. へ）
2. 機会があれば入手したい（問15-1. へ）
3. 入手したいと思わない

問15-1. あなたは、製薬会社からどのような情報を得たいと思いますか。
次の中からあてはまるものを選んでください。
（いくつでも）【必須】
1. 自分が処方されているくすりの情報
2. くすりについての基本的知識
3. くすりの正しい使い方
4. 新薬開発の新しい動き
5. 疾患に関する情報
6. 薬価の仕組み（くすりの価格について）
7. 流通の仕組み
8. くすりの製造方法や品質
9. 製薬産業の考え方や展望
10. 製薬会社の業績や経営方針
11. 医療制度に関すること
12. 製薬会社の社会貢献活動
13. 製薬会社の環境問題への対応
14. ジェネリック医薬品の情報
15. その他

問16. あなたは、研究開発志向型の製薬会社による業界団体「日本製薬工業協会（製薬協）」を知っていますか。
（ひとつだけ）【必須】

1. 知っている・活動内容も知っている
2. ある程度知っている・見聞きしたことはある
3. 知らない・見聞きしたことがない

問17. あなたは今後、製薬産業や製薬会社にどのようなことを期待しますか。
【必須】
※意見記入欄

2-3　新薬開発、治験についての認知、考え方

問18. 製薬会社は日々新薬の研究開発に取り組んでいます。新薬開発について、あなたはどうお考えですか。
次の（1）～（5）についてあなたの考えをお聞かせください。
(それぞれひとつずつ)【必須】

	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
（1）長い年月や莫大な費用をかけても新薬開発は必要である				
（2）製薬会社は、新薬開発になぜ時間や費用がかかるのか、内容を知らせるべき				
（3）欧米などのほうが開発の体制や技術が進んでいるので、日本がやることはない				
（4）十分な治療薬がない疾患に対する治療薬を開発することは社会にとっても意義がある				
（5）資源が少ない日本にとって新薬の開発はこれからも必要である				

問19. 新薬開発の最終過程で、国から新薬の承認・許可を受けるために、開発中のくすりを患者さんに投与し、有効性や安全性を確認する試験のことを「治験」といいます。あなたは、「治験」についてどの程度、ご存知ですか。
（ひとつだけ）【必須】
1. ある程度知っている
2. 「治験」という言葉は知っている
3. ほとんど知らない

問19-1. １つのくすりが承認を取得するまでに必要となる「治験」の総期間は、平均してどの程度の時間がかかるかご存知ですか。
（ひとつだけ）【必須】

1. 1～6カ月
2. 1～2年
3. 3～7年
4. 知らない

問19-2. １つのくすりが承認を取得するまでにかかる「治験」の費用総額は、どの程度の規模になるかご存知ですか。
（ひとつだけ）【必須】
1. ～数百万円
2. ～数千万円
3. ～数千億円
4. 知らない

問20. あなたは、これまで「治験」のことをどこから知りましたか。
（いくつでも）【必須】
1. 広告（新聞やチラシ）
2. ポスター
3. 製薬会社のウェブサイト
4. 治験情報サイト
5. その他ウェブサイト（SNS等含む）
6. 新聞や雑誌の記事
7. テレビ、ラジオの番組
8. 医師の紹介
9. 家族・友人・知人
10. どこからも情報を得たことはない（知らない）
11. その他

問21. 「治験」に関するデータが網羅・公開されている国立保健医療科学院のデーターベース「臨床研究等提出・公開システム（jRCT：Japan Registry of Clinical Trials）」をご存知ですか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 知っており、閲覧したことがある
2. 存在は知っている・聞いたことがある
3. 知らない

問22. 「治験」について以下のような意見があります。あなたのお考えに近いと思われるものを、お聞かせください。
（いくつでも）【必須】
1. 「治験」は新薬開発にとって必要不可欠である
2. 「治験」に関心を持っている

3. 関発中のくすりを投与するので不安がある
4. 「治験」にともなう副作用などのリスクを説明してもらっているか不安がある
5. 「治験」はまだ一般的に正しく認識されていない
6. 医療機関や製薬会社から「治験」に関する情報がもっとあるとよい
7. わからない
8. その他

問23. あなたは、「治験」に参加してもよいと思いますか。それとも、参加したくないと思いますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 参加してもよい （問23-1. へ）
2. 参加したくない （問23-2. へ）
3. わからない

問23-1. あなたが「治験」に参加してもよいと思うのはどのような理由からですか。
（いくつでも）【必須】
1. 社会の役に立つ
2. 次の世代のためになる
3. 新しいくすりを試すことができる
4. 治療に踏み切るきっかけになる
5. 医療費が安くてすむ
6. 何となく・特に理由はない
7. その他

問23-2. あなたが「治験」に参加したくないと思うのはどのような理由からですか。
（いくつでも）【必須】
1. 不安がある
2. 副作用等のリスクが怖い
3. 自分が参加しなくても誰かが参加すればいいと思う
4. 個人情報を知られたくない
5. 仕事・プライベートの都合で時間的余裕が無い
6. 何となく・特に理由はない
7. その他

2-4 医療データの利活用

問24. 医療データとは、医療機関や患者さんから集めた医療情報のデータベースです。医療データが、医療機関や製薬会社で利活用されることで得られる国民のメリットは何だと思いますか。
（いくつでも）【必須】
1. 新薬開発・提供の早期化、効率化
2. 各個人に適した効果的な治療選択肢の提案
3. 日々の健康サポート、ウェアラブルデバイスなどの機器の提案

4. その他
5. よくわからない

問24-1. あなたの医療データ（特定健診、処方されたくすりの情報や検査データ等）が、あなたの同意の下、他の医療機関や介護の場面で医療関係者に開示・閲覧できるようになることをご存じですか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 知っており、自分にとってもメリットがあると思うので医療関係者に開示したい
2. 知っているが、自分の医療データを開示するのは躊躇する
3. 知っているが、自分にとってはメリットがあるかどうか、どちらとも言えない
4. 全く知らない

問24-2. 製薬会社が新薬の開発や、市販されているくすりの安全性や有効性を確認するために、あなたの医療データを氏名や連絡先を含まないプライバシーに配慮した（あなたの医療データは多数の患者さんの一部として含まれる）状態で、活用されることについてどう思われますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. プライバシーが配慮されるなら、改めて同意を取らずとも活用してよい
2. プライバシーが配慮されていても、改めて同意を取ったうえで活用して欲しい
3. 活用してもらいたくない
4. よくわからない

第３章　くすり・医療の環境について（制度や社会的課題への理解）

３-１　健康とくすり・医療にかかわる用語と課題への認知

問25. あなたは、「医薬品や健康」に関係する次の（1）～（7）の言葉について、ご存じですか。
（それぞれひとつずつ）【必須】

	知っている	見聞きしたことがある	見聞きしたことがない
（1）ポリファーマシー（多剤併用）			
（2）AMR（薬剤耐性）			
（3）患者参画			
（4）ドラッグ・ラグ／ドラッグ・ロス			
（5）健康寿命			
（6）創薬エコシステム			
（7）セルフメディケーション			

問25-1. あなたは、次の言葉と、その意味を読んで、どう思いましたか。
（それぞれひとつずつ）【必須】

	身近な問題として意識している	知らなかったが重要な問題だと思う	身近な問題とは感じない	よく分からない
（1）ポリファーマシー（多剤併用） 患者さんに必要以上にくすりが投与されている、あるいは不必要なくすりが処方されている状態をいう。複数の医療機関を受診しくすりを処方されながら、「おくすり手帳」等を使った服薬の管理が行き届かないことで発生する場合が多い。				
（2）AMR（Antimicrobial Resistance：薬剤耐性） 抗菌薬（抗生物質を含む抗菌薬）が適正に使用されないことにより、本来効くはずの抗菌薬が効かない「薬剤耐性菌」が増えつつあり、世界的な脅威になっている問題。この「薬剤耐性菌」が増えると感染症が重症化し、さらには治療手段がなくなり死に至る可能性がある。				
（3）患者参画（医学研究・臨床試験における患者・市民参画）※PPI：Patient and Public Involvement 生命の尊重と個人の尊厳に基づき、患者が単なる医療の受け手ではなく、様々な情報を元に医療従事者と協働で治療に参画する（患者参加型医療）、あるいは、臨床試験（治験）や医学研究を計画・実行する過程においても、企業や研究者に患者・市民からの知見を提供すること。				
（4）ドラッグ・ラグ／ドラッグ・ロス 世界では既に承認されているくすりが、日本では未だに承認されていないことをドラッグ・ラグと呼ぶ。また、そもそも日本での開発が行われないことをドラッグ・ロスと呼ぶ。海外に新薬があるのに、日本ではそれが使えない状態となるため、国内の医療レベルの低下にも繋がる問題となりうる。				
（5）健康寿命 日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間のこと。平均寿命に対する健康寿命の割合が高いほど、寿命の質が高いと評価され、近年各国で重要視されている。				
（6）創薬エコシステム エコシステムとは、元来は同じ環境で暮らす動植物が共				

存しながら、生態系を維持している仕組みを表す。「創薬エコシステム」とは、製薬会社・行政・大学等が相互に関与することで、絶え間ないイノベーションが起こり、画期的な新薬が継続的に生み出される状態のことであり、日本でもそのような環境作りが求められている。				
（7）セルフメディケーション セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と世界保健機構（WHO）では定義されている。健康に過ごすため、毎日の健康管理や、正しい知識に基づき自分の健康は自分で守る意識が注目されている。				

3-2　薬価への理解と考え方

問26.　あなたは処方されたくすり(処方薬)の価格について意識したことはありますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。

（ひとつだけ）【必須】

1. 意識したことはない
2. 高いと感じることがある
3. 妥当な価格だと感じている（適正であり高いと感じたことはない）
4. 安いと感じることがある
5. その他

問26-1.　処方薬の支払いのベースとなる価格「薬価」は、誰が決めるかご存じですか。

（ひとつだけ）【必須】

1. メーカー（製薬会社）が自ら決めている
2. 医療機関や調剤薬局が決めている
3. 卸売販売業者が決めている
4. 国が決めている
5. 知らない

問26-2.　あなたは「薬価改定」という言葉をご存じですか。

（ひとつだけ）【必須】

1. よく知っている
2. 大体知っている
3. 多少知っている
4. よく知らない

問26-3.　あなたは「薬価」が実勢価格（市場での取引価格）に基づいて改定されていること（主に価格の引き下げ）をご存じですか。

（ひとつだけ）【必須】
1. よく知っている
2. 大体知っている
3. 多少知っている
4. よく知らない

問26-4. 処方薬の市場での取引価格（市場実勢価格）は誰が決めるかご存じですか。
（ひとつだけ）【必須】
1. メーカー（製薬会社）が自ら決めている。
2. 市場での関係者（医療機関・調剤薬局・卸売販売業者）が決めている。
3. 国が決める。
4. 知らない

問 26-5. あなたの「薬価」についての考え方に近いのはどれですか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 社会保障費の増加（国民負担）を軽減するため、新薬でも価格（薬価）は継続的に下げられるべきだ
2. 新薬であれば、治療貢献への価値にともなう価格（薬価）は維持されるべきだ
3. 新薬を日本で使用するためには、社会保障費の増加（国民負担）につながる価格（薬価）の上昇もやむを得ない
4. 考えたことがない・わからない
5. その他

3-3　医療費・医療保険についての考え方

問27. 人口の高齢化や医療技術の高度化に伴い、医療費の国民負担は増加しています。あなたのお考えに最も近いと思われるものを、お聞かせください。
（ひとつだけ）【必須】
1. 医療費の国民負担が増えても、質の高い医療を受けたい（負担↑、医療の質↑）
2. 医療の質が下がったとしても、国民負担は減らして欲しい（負担↓、医療の質↓）
3. 国民負担や医療の質が変わらないよう、国や企業が努力して欲しい（負担 横ばい、医療の質 横ばい）
4. 考えたことがない・わからない
5. その他

問28. 日本は、国民皆保険制度のもと、世界有数の長寿国となっています。医療保険制度や健康に対するあなたのお考えに近いと思われるものを、お聞かせください。
（いくつでも）【必須】
1. 国民皆保険制度を、できる限り続けて欲しい（制度の維持）
2. 国民皆保険ではなく、米国のように個人が選べる民間保険にして欲しい（制度の変更）

3. 国民皆保険が将来も安定するよう、財源や給付の見直し等は必要だと思う
4. どのような医療保険制度になろうと、国民の負担増になることは反対である
5. 健康に不安があれば、できるだけ医療機関を受診したい
6. 医療機関には頼らずに、予防などに努めたい
7. 健康に不安があれば、必要なくすりは服用したい
8. できるだけ、くすりは服用したくない
9. 考えたことがない・わからない
10. その他

3-4　コロナ禍における健康についての考え方

問 29. あなたは、コロナ禍以降とそれ以前で、健康やくすり・医療への考え方は変わりましたか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 変わった（問29-1. へ）
2. やや変わった（問 29-1. へ）
3. 変わらない

問 29-1. 考え方はどう変わりましたか。近いものを選んでください。
（いくつでも）【必須】
1. 健康意識が高まった・健康を考えるようになった
2. 病気の予防意識が高まった
3. 医療従事者への感謝の気持ちが高まった
4. くすりやワクチンに関して、詳しく知りたいと思うようになった
5. 日本の製薬メーカーの企業活動が十分だと感じるようになった
6. 日本の製薬メーカーの企業活動が不十分だと感じるようになった
7. 日本製のくすりやワクチンが、必要だと感じるようになった
8. 日本製のくすりやワクチンは、不要だと感じるようになった
9. 日本の医療供給体制、医療の質、ともに十分であることを感じた
10. 日本の医療供給体制、医療の質、ともに不十分であることを感じた
11. 国の医療政策に関心を持つようになった
12. 病院・医療機関に行く機会を増やすようになった
13. 病院・医療機関に行く機会を減らすようになった
14. その他

3-5　薬剤の供給不安についての考え方

問 30. 昨今、ジェネリック医薬品を中心に、せき止めや高血圧など、医療現場で手に入りづらい薬が増えています。あなたは、このような医薬品の供給不安の問題についてどう感じますか。
（ひとつだけ）【必須】

1.　影響があり、身近な問題と感じる
2.　影響はなく、身近な問題とは感じない
3.　考えたことがない・わからない（本調査回答終了）
4.　その他（本調査回答終了）

問 30-1.　あなたは供給不安の問題の要因と解決についてどう考えますか。
（ひとつだけ）【必須】
1. 製薬業界に要因があり、業界として解決すべき問題であり、早期に解決できる
2. 製薬業界の努力に加え、国の制度や市場環境も含めて考える必要があり、早期の解決は難しい
3. 考えたことがない・わからない

本調査回答完了